

大坂正明さんの鼻を手術させるために 東京拘置所への要望書をお寄せください

1971年11・14沖縄返還協定批准阻止のデモが東京・渋谷で闘われ、その過程で機動隊員1人が亡くなりました。この件で大坂正明さんは「殺人罪」をでっち上げられ、46年間も指名手配されてきました。

2017年6月に逮捕され、現在東京拘置所に拘禁されて公判前整理手続を闘っています。昨年夏、片方の鼻がつまったので医師に診てもらったところ「ポリープができています。東京拘置所では手術できないから、外に出て耳鼻科の病院へ行くように」と言われました。本年1月には両方の鼻がつまってしまいました。「手術願い」を出しましたが、3月25日に却下されました。4月には耳の調子も悪くなり聴力が落ちたので診察を受けたところ、医師は「鼻を治さない限り耳への影響はさけられない」と言ったとのことでした。

大坂さんはこの医師の診断に基づき、5月に再度「手術願い」を出しましたが、東京拘置所は5月26日、再び「不許可」にしました。

大坂さんは、現在、鼻呼吸が全くできません。口で呼吸しているので、口内が乾いてしまいます。鼻が詰まっているため発音がしづらく、裁判官を前に意見陳述することが難しいと言っています。また、匂いがわからず、鼻水が出っぱなしです。

大坂さんは現在70歳です。3年間の未決勾留自体が苛酷な人権侵害である上、鼻呼吸ができない状態で過ごさなければならないのは拷問です。

東京拘置所は大坂さんの鼻のポリープを除去する手術を行うべきです。東京拘置所に手術を求める「要望書」を集めています。ぜひお送りください。

FAXか、郵送でお願いいたします。

2020年11月22日

大坂さん裁判弁護団

西村正治(第二東京弁護士会) 萱野一樹(第二東京弁護士会) 山本志都(東京弁護士会) 藤田城治(第二東京弁護士会) 酒田芳人(東京弁護士会)

大坂正明さん救援会呼びかけ人

小泉義秀(合同・一般労組 救援会事務局長) 佐野武(1969年佐藤訪米阻止闘争千葉県被告団長) 飯島幸雄(元国労千葉津田沼電車区) 山本敏子(東京労組交流センター事務局/元千葉大生) 白石滋(国労新宿駅分会) 坂野康男(東海合同労組執行委員長/同郷) 前川利克(沖縄労組交流センター/同郷) 狩野満男(星野全国再審連絡会議共同代表) 大島信子(三多摩星野文昭さんを救う会) 狩野裕子(星野さんを取り戻そう!東京北部の会) 三浦正子(婦人民主クラブ全国協議会代表)

連絡先 〒105-0004 東京都港区新橋2-8-16 石田ビル4階

大坂正明さん救援会

電話080-5509-9321(杉浦) FAX03-3591-8226

Eメール: oosakaqen@yahoo.co.jp